

7号機使用前事業者検査の進捗状況については以下のとおり。

件数は「実績件数／計画件数」

	2023年6月30日 時点	備考
燃料装荷前に行う検査	389件／397件	
CR引抜前までに行う検査	37件／46件	
工事完了前までに行う検査	6件／9件	
全体	432件／452件 (95%)	

## <検査の実施時期管理の状況について>

- 検査実施時期に係る管理については、使用前確認申請上の分類である「プロセス等に基づく分類」と、これとは別に検査完了時期をホールドポイント（燃料装荷前、CR引抜前、工事完了）で3つに分類した「ホールドポイントに基づく分類」の2つを設けており、これらを検査管理台帳に記載している。

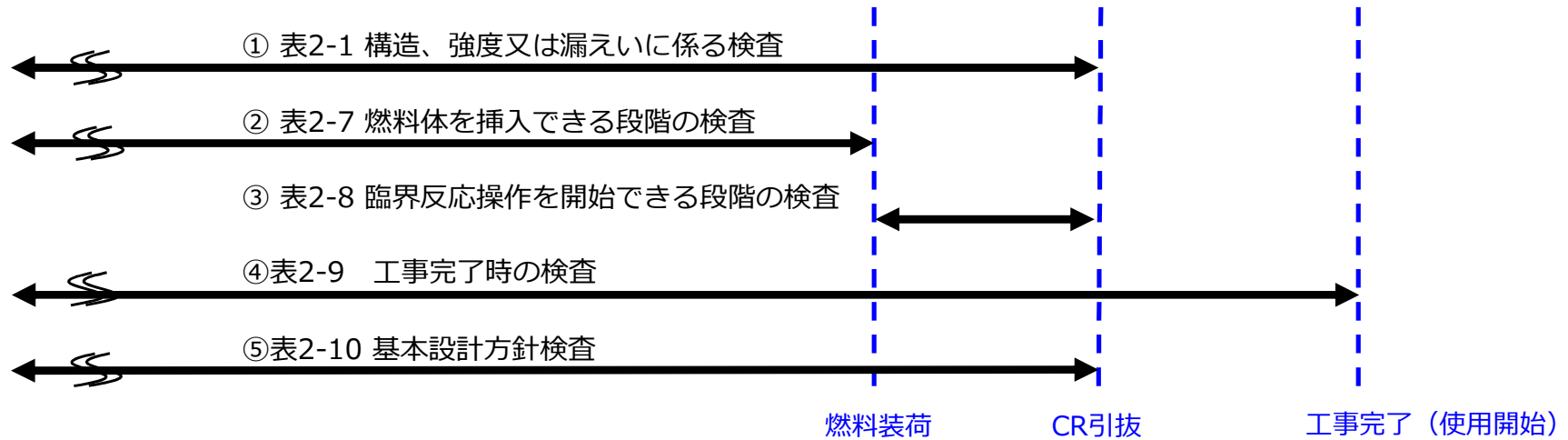
## <ユニット所長会見での質疑について>

- 今回の会見においてご質問いただいた「燃料装荷から起動までに必要な検査数」に対し、「ホールドポイントに基づく分類」における「CR引抜前までに行う検査」の件数を基に回答したことから、誤解を生じる結果となったものと考えている。

## <「臨界反応操作を開始できる段階の検査」の実施状況について>

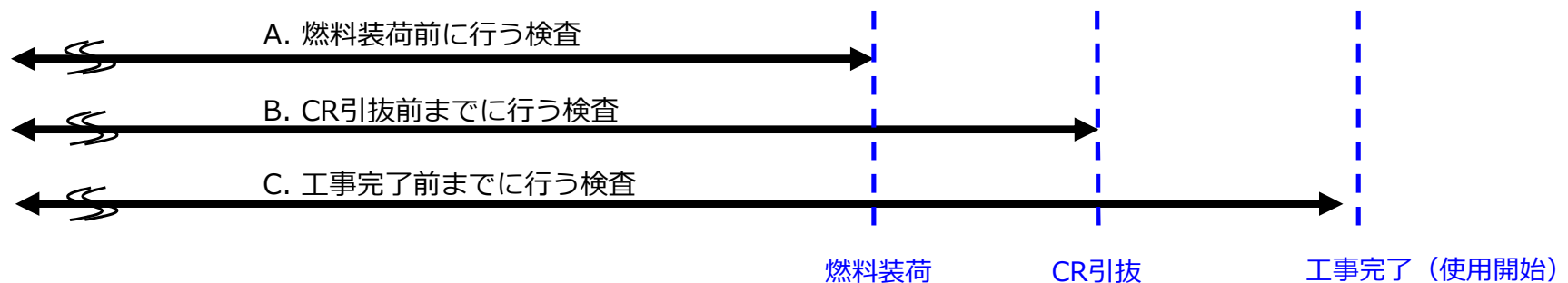
- 今回の会見においてCR引抜までに必要な検査として回答した46件のうち、使用前確認申請上の「臨界反応操作を開始できる段階の検査」に該当する検査は3件であり、これらは全て未実施であることから、申請内容に対する逸脱はないことを確認した。
- 但し、検査管理台帳に記載する各分類について、一部で保安規定を適用する時期（当該系統の機能が要求される時期）に注視していたことから再整理を実施する。

使事検は要領書毎に工認や使用前確認申請と同様に「設計及び工事に係る品質マネジメントシステム」に基づいた以下のプロセス等に基づく分類を紐づけしている（今回の議論と関係のない検査に係る分類については省略）。



プロセスによる分類と実施時期関連イメージ図

プロセス等に基づく分類では、①④⑤に該当する要領書について各々の完了すべき時期が判別できないため、当該分類とは別に以下のホールドポイントに基づく分類を定めて紐づけしている。当所ではホールドポイントに基づく分類を主として管理しており、ユニット所長会見においては当該分類による検査状況集約結果を回答。



ホールドポイントによる分類と実施時期関連イメージ図